

# (株) えふえむ草津 第63回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和2年11月26日(木) 18時30分～20時00分

2. 開催場所 草津アマカホール(文化教室1)

3. 委員の出欠 委員総数 6名 出席委員 5名

(出席委員) 岡本直輝 岩佐卓實 辻 信一  
松田泰子 森 健蔵

(欠席委員) 奥谷美津子

(放送事業者側出席者) 青木 均(代表取締役)  
山本正雄(事務局)

## 4. 議 題

(1) 近況報告

(2) 番組『おはよう!785』について  
(第週火曜日～金曜日8時から放送 アナウンサー:灰谷純子)

(3) 訂正または取消し放送の実施状況

(4) その他



## 5. 議事の概要

### (1) 近況報告

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策については、引き続き番組出演者・制作者、スタッフの安全確保に万全を期している。

10月6日には、放送局のコロナ対策をより一層進められるようにとカチプラス（未来循環）様から次亜塩素酸水を寄付していただいた。

新しい局の取り組みとして、えふえむ草津スタッフ間の情報共有と放送番組の質の向上を目指した「番組企画会議」を月1回開催することとし、第1回目を9月24日に、以下10月15日、11月19日に実施した。

また11月13日には、近鉄百貨店屋上駐車場で行われたルーフトップコンサート（県市連携事業の文化芸術×共生社会プロジェクト）の様子を、「イブニングロケッツ785」を特別番組に変更しながら生中継対応で放送した。

なお、10月改編の「番組表」を作成して、配布を終えた。

緊急割込み放送等を含む防災関係では、10月7日に屋外スピーカー全国一斉情報伝達試験が行われ、防災緊急割込み放送試験を9月17日、11月18日、10月17日に実施した。

また、現役消防士の声を聴く「ボイスオブファイアー」のコーナーについては、9月17日と10月19日に放送した。

機器関連では、パーソナリティの不注意による調整卓の故障が発生したが、新規購入により対応した。また、IPコーデック機器故障に関連する停波事故については、「訂正または取消し放送の実施状況等」のとおり。

コミュニティ放送局の再免許については、10月27日付けで交付を受けた。

### (2) 番組『おはよう！785』について

番組『おはよう！785』について、14分程度に編集した音源を聞いた上で審議に入った。

（放送事業者）

この番組は、朝の通勤・通学時間や職場で地域のニュースを聞いていただくことを主眼として、毎週火曜日から金曜日の朝8時から放送し、オンデマンド配信も行っている。

（番組に対する審議委員からの主な意見）

○「まめタク」の実証運行についてのニュースの中で、障害者への案内が無かった。

○保育士募集の内容について、耳に残らないが原稿はどのように作成しているのか。

- 何もかも一緒くたんで、ニュースごとの区分が分かりにくい。「ピンポン」といった音源を入れると分かりやすいのではないか。
- 行政からのお知らせだけでなく、民間の話題やフリーなトークも必要なのではないか。
- 延べっとしていて昔風に聞こえる。もう少しメリハリを付けないと内容が耳に残らない。
- クラシック音楽をBGMにしているが、変化に乏しく皇室放送のようだ。
- カタカナ用語は使わないようにすべきだ。
- 何故、ラジオ体操を入れているのか。

(放送事業者から)

ニュース原稿は、草津市からの情報提供資料に基づいて、分かりやすくするために話し言葉に変えて作成している。今回の「保育士募集のお知らせ」については、市役所内で決裁を得ているため、そのまま読んで欲しいという要請があった。

朝8時からの時間帯は、本来なら生放送で地域の情報を伝えたいが、現状では態勢がとれないため収録型で毎日放送している。

ラジオ体操は、職場等で実施していただくことによって「健幸都市くさつ」に寄与すると共に、リピーター確保のために入れている。

朝の爽やかな雰囲気づくりのためにクラシック音楽をBGMに使用しているが、今後は軽快な音楽も取り入れていきたい。

なお、通常は各ニュースごとにBGMを入れ替え、SE等も活用しているが、編集時間が無い場合は、いくつかのニュースを一括して流している。

今後は、できるだけ改善していきたい。

### (3) 訂正または取消し放送の実施状況

去る10月27日に下記のとおり放送事故が発生した。

項目	状況等
事故の発生日時	2020年10月27日(火) 18時12分04秒～18時31分03秒(18分59秒間)
事故の内容	停波
事故の原因	中継回線・設備故障
事故の内容	スタジオと送信所をつなぐ専用回線に異常が発生し、非常回線に切り替わった際、通信ができなくなり放送が無音状態となった
措置内容	主回線に切り替えて復旧
障害の発生、認知、復旧作業	18時12分 スタッフがスタジオで異常を認知

項目	状況等
経過等	18時30分 送信所がある草津市役所の放送機器を操作し、通信回線を正常に戻した
影響世帯数	82,679 世帯
広報状況及び問い合わせ数	障害状況の HP 掲載:28日13時 問い合わせ件数:2件

#### (4) その他

○職場では、えふえむ草津を流すようにしているが、周辺にマンションが建設された影響で綺麗に受信できなくなっている。エフエム滋賀が良く入るのだが・・・。

(放送事業者から)

都市型難聴の問題について、送信アンテナの高さを上げるなどの対応を検討している。

エフエム滋賀は1kwの出力で遠くから発信しているため、ある程度電波が回り込むが、えふえむ草津は僅か10Wの出力しか許可していただけない。またテレビの電波障害だとビル建設時に対応されるが、ラジオの場合は対象となっていないため悩ましい問題だ。

#### 【議事録の公表方法】

- ①当社玄関カウンターに設置（12月10日～）
- ②当社ホームページへの掲載（12月10日～）
- ③番組「草津レポート」（12月18日12時～）の中で番組審議会の内容を放送